

令和 8 年度 GH TOMO 地域連携推進会議 会議録

日 時	令和 8 年 7 月 28 日（火）午後 14:00～15:15
場 所	GH TOMO リビング（共有スペース）
出席者	入居者：1 名 保護者：1 名 中央区 区長：1 名 中央区 民生委員：1 名 福祉事務所：福祉サービス係 1 名 メモリアルホームみずほ：施設長、他 2 名
会議内容	
※ 別紙 令和 8 年度 グループホーム TOMO 地域連携推進会議 資料参照 1)開会の挨拶 今回の会議の目的と会議内容を職員より説明、参加者へのお礼と挨拶。 2)自己紹介 参加者からの挨拶。 3)検討内容 ① GH TOMO の現況報告 ○資料外部分としてグループホームの金銭管理について、家賃や生活費の内訳等の説明を職員より行う。 【質疑応答】 ・世話人になる為に必要な資格はあるのか？ →中には介護福祉士の資格を有している方もいるが、特に資格は必要ない。障害者と関わる為に定期的に施設での研修に参加してもらい、自己啓発、自己研鑽に取り組んでいる。 ・入居者数について昨年も同じ人数であり変動がないのはなぜか？ →TOMO は設備状況や夜間の宿直対応等があり、比較的自立度の低い方に入所して頂きたいため、人数の変動がなかった。ホームは TOMO 以外にもあり、他グループホームとの兼ね合い、運営状況を鑑みて調整を行っている。 ・ショートステイ利用の使用頻度について教えて欲しい。 →TOMO では毎月 4～5 名程度の方が利用されている。 ・年齢的にも高齢者施設への移行に当てはまる方がいるが、今後はどのような予定か。 →現在は障害施設の利用と併用して、高齢者施設のサービスを利用している方もいる。高齢者施設へ全て移行となると、本人の気持ちの切り替えが出来るかが今後の要検討課題となる。 ⇒高齢と障害でサービスの違いに落胆する利用者も見てきたため、本人がどう納得していくのかも課題だと思われる。 ・一日の流れの中で散歩などあるがホームの自由に出入りできるのか →自由に出来るがホームから出かける時は世話人への報告をしている。世話人と出掛ける事もある。 ② 入居者の権利擁護に関する事	

【質疑応答】・なし

③ 緊急時に関すること

【質疑応答 ご意見】

(みずほ職員) 直近実施された市の合同防災訓練の際、地域の方はどちらに避難したか？

・避難場所について、合同防災訓練の際は亀ヶ丘体育館へ避難している。能登での地震時は隣接する翠明園の階段や園内に避難していた。状況に応じて一時避難場所を変えなければいけないと思っている。垂直避難としては翠明園が良いと思う。

・今回災害レベルも加味した訓練であり、時間的には30～40分で終了している。顔合わせの訓練も兼ねているため、ホームの関係者の方にも年1回の訓練に参加していただければと思っている。本番に近い形で避難を想定するため、参加する際は緊急リュックやカバン等を担いでいただければと思う。

・高齢者の方について車椅子の操作は自分で出来るのか？操作できない、または介助者が居ない時は地域の方で協力できればと思っている。

→自身では出来ない。歩行は出来るが、不安定であり緊急時の歩行は難しい。夜間は宿直者が対応できるが、休日中は入所者しか居なくなるので課題になる。

・夜間の宿直者は1人なのか。緊急連絡体制は整っているのか？

→宿直者は1名。夜間はみずほ夜勤職員へ連絡する事になっている。

・市では防災施設や設備等が整えられており、中央区でも防災士育成を計画しているため今後、施設、グループホームへの協力が出来ればと思っている。

④ 地域との連携・理解の促進

【質疑応答 ご意見】

・気にする方もいる方も知れないが、ホームの周りからは苦情など直近聞かれていない。

・グループホーム個別の避難訓練は実施しているのか？

→直近数年は出来ていない。コロナ化や入所者の高齢化もありハードルが高くなっている。シミュレーションを行っていくのは大事であり今後順次行っていく。

⑤ 質問・その他自由な意見交換

(区長様)

・少子化もあり、中央区全体での人のつながりが少なくなっている。避難訓練はグループホーム TOMO の方と分かるような訓練でもいいのかなと思う。また、年に3回、区の事業で保護者を集めて行事を実施しており、横の繋がりが大事・必要な現状である。

(民生委員様)

・避難訓練でトラウマ、恐怖を感じる利用者もいるため実施が困難かと思われる一方で、訓練を行うことで脳を動かされ体も動くのではないかと思われる。

→入所者の中では利用している事業所で避難訓練を行っている所もあり、慣れていないわけではないが、今後の実施について要検討していきたい。

以上